

出前講座報告書

実施日時	2021年11月16日 14時～15時	主催者名	弘前市東部地域包括支援センター
講師名	相馬 渉	会場名	特別養護老人ホーム福寿園
テーマ	支援者に気にかけてもらいたい、お薬のこと		
参加人数	19人	報告者	相馬 渉

《質問された内容など》

【講座内容】

参加者：弘前市東部地域包括支援センター圏域の居宅介護支援事業所のケアマネージャー

講義内容：今回は、対象がケアマネージャーだったので、ポリファーマシーについて知ってほしかった。

ポリファーマシーについて

(定義、なぜ問題になるのか、至る要因、適切処方のためのツール、
ポリファーマシー対策の進め方)

(認知症高齢者のポリファーマシーなど)

(感想)

・いまでは医師が必要な薬を処方してくださって、それがすべてと思っていたところがあります。研修を受けて、利用者の方が適切な薬が飲まれているのか、多剤による副作用のリスクがないのか、などの視点が広がり、考えも違ってくると思います。捨てられる残薬が500億円はとても考えせられました。

・今回の講義内容は医師、家族に聞いていただき、意識改善してほしい。

【質問内容】

- ・どのようなタイミングで、どこに聞いたらよいか？→薬局に相談してください。
- ・睡眠薬の必要性。服用しても効果がない方に続ける必要があるのか？→ないです。減薬のチャンスです。
- ・後発医薬品で、死亡事例があったが、飲まれても安全ですか？→小林化工の睡眠薬混入事例です。安全です。

(評価) 回答9名中とても役に立った(わかりやすかった)7名

まあ役に立った(だいたいわかった)2名

《気づいたことや今後の教訓など》

・ケアマネージャーにポリファーマシーについて話したかったので、とてもいい機会になった。

薬剤師にもっと相談するという声も聞こえてので、今後少しでもポリファーマシーによる有害事象が減ってくればいいと思った。

・今回は、Teamsを使ったハイブリッド式の研修会だったので、始め、オンラインに音声が届かない機器トラブルがあったので、事前チェックが必要だ。